

鶴書



梨子のまゝとてはなすべし
と。おぼしきとてあはれ。おぼしきとてあはれ。
人なりとてあはれ。おぼしきとてあはれ。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。

地を指規し。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
物なりとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
あはれとてあはれ。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。
いふはるる。いふはるる。いふはるる。

寺に侍ありくまのふたごころなり。
そのまゝも牛馬の鼻へんを
まひくまのふたごころなり



寺に侍あり

己

林清中句書之統

酉

132X
28
36₂₀